

# 平成30年第2回(6月)大郷町議会定例会一般質問通告書

## 目 録

1. 大友 三男 議員
  - 1) 住民バスの現状について
  - 2) 現在小中学校スクールバス運行を委託している民間会社について
  - 3) 町道の安全対策について
  
2. 佐藤 千加雄 議員
  - 1) 公共施設等の総合管理計画について
  - 2) 大郷町総合計画でうたっている生活環境基盤の整備について
  - 3) 地域文化の振興について
  
3. 和賀 直義 議員
  - 1) 町民会議、若者の政策形成過程への参画について
  - 2) 中学校や避難所施設のトイレの100%洋式化を
  
4. 千葉 勇治 議員
  - 1) 大郷町都市計画マスタープランの今後の展開について
  - 2) 「町民第一主義」スローガンのまちづくりについて
  
5. 高橋 重信 議員
  - 1) 乱開発を防ぐ条例を制定について
  - 2) 株式会社おおさと地域振興公社事業の推進体制について
  
6. 若生 寛 議員
  - 1) 幼稚園・小学校・中学校のスクールバスのバス停設置について
  - 2) 東北電力女川原子力発電所の再稼働について
  
7. 熱海 文義 議員
  - 1) 幼保連携型認定こども園について
  - 2) 議会報告会での町民の質問、要望について

| 通 告 要 旨  | 備 考           |
|--|---------------|
| <p><b>1. 住民バスの現状について</b></p> <p>住民バス指定管理者として運行を委託していた民間会社は、苦情が多く、法違反を繰り返すなど住民バスを利用しているお客様に対して迷惑をかけていた。平成30年4月から株式会社おおさと地域振興公社が住民バス指定管理者として運行を開始しているが、全く改善されずいまだに利用しているお客様から複数の苦情があるようだ。監督指導する立場の行政として、どのような対策、指導を行ったのか、今後どのような改善策を講じるのか町長の考えを伺う。</p>                     | <p>一問一答方式</p> |
| <p><b>2. 現在小中学校スクールバス運行を委託している民間会社について</b></p> <p>平成23年度から本町のスクールバス運行を委託している状況の中、委託先である民間会社は通常では考えられないような、平成26年8月20日、平成28年6月20日、最近では平成30年3月22日と短期間に3回もの法違反を繰り返すなど、全くプロ意識のないバス会社に本町の将来を担う大事な子どもたちを託すことはできないと思うが、このようなバス会社に運行を委託している行政として、どのような認識でいるのか、町長並びに教育長の考えを伺う。</p> |               |
| <p><b>3. 町道の安全対策について</b></p> <p>歩道のない町道での歩行者の安全対策として、丸山長崎地区、中村交番前（大郷駐在所）の町道のように路肩のラインの内側にラインを二重に引いて、通行する車両に対し、歩道と同等の認識を促し、子どもや高齢者をはじめ、歩行者の事故防止、安全対策を早急に実施すべきと思うが、行政としてどのような安全対策を講じていくのか、町長の考えを伺う。</p>  |               |

| 通 告 要 旨   | 備 考           |
|---|---------------|
| <p><b>1. 公共施設等の総合管理計画について</b></p> <p>本町の公共施設は、耐用年数に限りなく近づいている建物が数多く存在し、耐震補修などで長寿命化を図っているのが現状である。これまで長期的な青写真が示されておらず、速やかに作成すべきと考えるが町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 長期的な施設の総合計画(建て替え等)について<br/>                     (2) 第2次個別整備計画の概要について</p> | <p>一問一答方式</p> |
| <p><b>2. 大郷町総合計画でうたっている生活環境基盤の整備について</b></p> <p>町民第一主義の理念に立った今後の取り組みについて町長の所見を伺う。</p> <p>(1) 生活道(赤道含む)の整備について<br/>                     (2) 上水道(老朽管の更新・有収率向上など)の整備について</p>   |               |
| <p><b>3. 地域文化の振興について</b></p> <p>総合計画の中で「民俗資料館には、民俗文化財を展示・保存しています。今後も資料を収蔵する場所に」、とあるが、全く機能をしていないのが現状である。文化協会や各種文化団体への支援強化が十分に図られていないと思われるが、今後、地域文化の振興にどのように取り組むのか、町長の所見を伺う。</p>  |               |

| 通 告 要 旨  | 備 考           |
|--|---------------|
| <p>1. 町民会議、若者の政策形成過程への参画について</p> <p>(1) 町民会議の内容について<br/>           町政の見える化、開かれた行政の推進のために町民会議を実施するとの宣言をされた。その内容について伺う。<br/>           構成メンバー、開催頻度、ネライ（効果）、政策への反映等。</p> <p>(2) 若き力で元気なまちづくりを<br/>           施政方針で50年後、100年後の未来を見据えたまちづくりをうたっている。その為には、若者の意見を聞き政策に反映させること、また、若者の人材育成に不断に取り組むことが重要と考え、以下所感を伺う。</p> <p>ア) 政策審議会委員に若者枠の設定を。<br/>           イ) 若い町職員の提案に予算枠を設け、企画力を育成する。<br/>           ウ) 若者が常時集える場所の提供・設置を。若者が常時集える明るい施設がない。若者育成の為にも青年会館又は青年室を設ける必要がある。<br/>           エ) 青少年モニター制度<br/>           13歳～30歳までの人に青少年モニターを公募し、年に2回程度、アンケート方式による意見聴取を行う。<br/>           オ) 若者会議の開催<br/>           若者の意見や提言を町政に反映させ、若々しい感性と力強いエネルギーを取り入れ、若者との協働によるまちづくりを進める。<br/>           カ) JK課<br/>           福井県鯖江市市民まちづくり課で実施しているプロジェクトで、行政に直接かかわったことがない女子高生たちが自ら考え、やってみたいまちづくり活動を提案し、具現化する市民協働プロジェクト。<br/>           (※JK＝女子高生)</p> | <p>一問一答方式</p> |

## 2. 中学校や避難所施設のトイレの100%洋式化を

平成28年9月定例会の一般質問で中学校のトイレの洋式化を提案し、順次洋式に取り換えるとの答弁であった。以下伺う。

- (1) 中学校、避難所施設のトイレ洋式化率は。
- (2) 中学校や避難所施設のトイレの洋式化に向けた目標設定は。
- (3) 緊急防災・減災事業債が平成32年度まで使え、全国で5,000億円計上していると聞いている。避難指定所の4項目さえクリアしていれば、バリアフリー化にして、トイレ改修までできるとのこと。学校設備だけでなく、消防防災のところでも予算化されているところもある。総務省でも指定した避難所であれば、この予算も使えるので、是非バリアフリー化しながら洋式化した方がよいのでは。

| 通 告 要 旨   | 備 考           |
|---|---------------|
| <p><b>1. 大郷町都市計画マスタープランの今後の展開について</b></p> <p>田中町政時代（いまから10年前）の2008年（平成20年）10月に大郷町都市計画審議会に対し、「都市計画マスタープラン概要説明」が行われ、翌年の2009年（平成21年）6月に小学校学区単位で地区懇談会を開催、田中町長は町づくりについて住民から意見を頂き、その成果に基づき7月15日には大郷町政策審議会でも地区別の意見がまとめられ素案が固められた。その後を引き継いだ赤間町政が2009年（平成21年）9月から前者の練り上げた計画をまとめ、翌年の2010年（平成22年）3月に基準年次を2010年（平成22年）として10年後の2020年（平成32年）を目標年次に定め、現在に至っている。</p> <p>そこで次の件について伺う。</p> <p>(1) 「大郷町都市計画マスタープラン」について、再びその舵を取る立場になった田中町政は、今後、この計画をどのように進めていく考えか示されたい。</p> <p>(2) 乱開発を防止するため、「都市計画法」の制定を求める声が議会報告会で出されているが、執行部の今後の考え方について伺う。</p> <p>(3) 前町政は、長崎地区と中村地区にまたぐ地域を埋め立て、新たな町づくり構想を検討された経過があるが、このことに対する田中町政の考え方について伺う。</p> <p>(4) 既にその前段とも思えるような農地の客土が進められている箇所が県道大和・松島線の沿道にあるようだが、工事計画の概要について伺う。</p> | <p>一問一答方式</p> |

## 2. 「町民第一主義」スローガンのまちづくりについて

新年度に入り「町民第一主義」のスローガンが庁舎内の至る所に張り出されており、町長の公約実現の意気込みが感じられる。しかし、戦後生まれの我々世代からすれば憲政が民主主義の時代、「住民・町民第一主義」は当然のことであり、それをあまりにも強調することにより、これまでの町政が「町民第一主義」から大きく逸脱していた町だという、暗い印象を本町の内外に示すことになるのではと考えるが次の件について町長の見解を伺う。

- (1) これまでの8年間の前赤間町政で「町民第一主義」から逸脱していたと田中町政が捉えているその主なものは何かを伺う。
- (2) 現田中町政の任期中にその問題についてどのように改善・改革していく考えなのか伺う。

| 通 告 要 旨   | 備 考           |
|---|---------------|
| <p><b>1. 乱開発を防ぐ条例を制定について</b></p> <p>東成田地区と川内地区に土取場が集中しており乱開発と言っても過言ではない。最終的にはどのような状況になるのか図案化をして検討すべきである。このような開発行為は条例をつくり防ぐべきと考えるが所見を伺う。</p>   | <p>一問一答方式</p> |
| <p><b>2. 株式会社おおさと地域振興公社事業の推進体制について</b></p> <p>井ヶ田製茶株式会社との業務提携を行い、いよいよ事業展開のための取り組みがなされていると考えるが、どのように進んでいるのか。</p> <p>また、本事業は、若者・定住・子育てなど、魅力あるまちづくりを目的としていることから、それを推進するための体制づくりが極めて重要と考える。そこで、公社事業の推進体制について町長の所見を伺う。</p> |               |



| 通 告 要 旨  | 備 考           |
|--|---------------|
| <p>1. 幼稚園・小学校・中学校スクールバスのバス停設置について</p> <p>(1) バス停までの平均距離と最長距離は</p> <p>(2) バス停設置要件の内容は</p> <p>(3) 距離、地区に限らず、希望者全員を利用可能としては</p> | <p>一問一答方式</p> |
| <p>2. 東北電力女川原子力発電所の再稼働について</p> <p>東北電力女川原子力発電所の再稼働の考え方を伺う。</p>   |               |

| 通 告 要 旨  | 備 考           |
|--|---------------|
| <p><b>1. 幼保連携型認定こども園について</b></p> <p>平成32年4月から幼稚園、保育園が幼保連携型認定こども園に移行することになるようだが、課題と思われることについて伺う。</p> <p>(1) こども園を委託する運営法人はどこに決定したのか。また、委託によって、町の財政負担はどのようになるのか。</p> <p>(2) これまで、幼稚園保育料の保護者負担は5,500円であったが、こども園になった場合はどうするのか。</p> <p>(3) こども園の名称は「すくすくゆめの郷」の現状のままか。</p> <p>(4) 幼保連携型認定こども園になれば幼稚園教諭と保育士資格が必要となるが確保できるのか。また、これまでの職員の処遇はどうするのか。</p> <p>(5) こども園になることで、施設の増築を考えていると聞いていたが、将来、園児が減少すると見込まれているので、現状での運営はできないのか。</p> <p>(6) こども園のバス運行はどのように考えているのか。</p> <p>(7) 支援者制度があるようだが、大学生などの協力はどのようにするのか。</p> | <p>一問一答方式</p> |
| <p><b>2. 議会報告会での町民の質問、要望について</b></p> <p>(1) 山中希望の丘線は中止、凍結または延期なのか、町長の所見を伺う。また、町所有の土地の有効活用策を伺う。</p> <p>(2) 川内のカーボン入口の土地は、所有者から同意書をもたらしたままであるが、所有者にこれまでの経過、今後のことに対して説明がないようである。この土地の利用を考えているのか、町長の所見を伺う。</p> <p>(3) 子育て支援策の幼稚園、小・中学校給食費負担の無償化や入学時の運動着の支給などの情報が住民に伝わっていないようであるが、どのような情報発信をしているのか伺う。</p>   |               |